

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

日南の子どもの体力・運動能力



町民のみなさんの中には、子どもの頃に学校で「スポーツテスト」をされた方も多いと思います。文部科学省では、昭和39年より「体力・運動能力調査」（いわゆるスポーツテスト）を実施してきました。平成11年度からは、実施種目等の見直しをふまえ、「新体力テスト」が実施されています。今回は今年度の調査結果をもとに、日南の子どもの体力・運動能力について考えてみたいと思います。

結果を見ると、小学校・中学校とも県と同等か上回る状況にあると言えます。全国平均と比較して、長座体前屈、ボール投げは、鳥取県の子どもの苦手な種目となっていますが、日南の子どもたちは全国と比

較してもそれを上回っています。また、鳥取県の子どもの得意種目とされるシャトルランでも、小学生男女とも県平均を上回る好結果でした。しかし、握力や立ち幅跳びでは多くの学年で県平均を下回っています。

全国的に子どもの体力・運動能力は低下傾向にあるとされてきましたが、ここ数年は、学校や地域における子どもの体力向上のための取り組みが積極的に行われたこともあり、低下に歯止めがかかりつつあります。しかし、運動習慣のある子どもとない子どもの二極化が進んでおり、それを補うために、学校では体育の学習の充実や日常的な運動遊びの推進等に取り組んでいます。

子どもたちの健康や体力・運動能力は、生活習慣や運動習慣によって大きく左右されるものです。日頃、バスで通学し、歩く距離も少ない子どもたちが多い中、子どもたちが運動を楽しんだり、地域の様々な活動に参加したりすることで、健康の維持や体力向上につながるよう、みんなで考えていきたいものです。

日南小中学校と県平均の比較

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	合計得点
小 男子	▲	○	◎	○	◎	◎	▲	◎	○
小 女子	○	○	▲	○	◎	◎	▲	◎	◎
中 男子	▲	◎	◎	◎	▲	▲	▲	◎	◎
中 女子	▲	◎	◎	◎	▲	◎	▲	▲	▲

◎県平均を上回った学年が多い種目

○県平均を上回った学年と下回った学年が同数の種目

▲県平均を下回った学年が多い種目



にちなん子ども応援隊だより No. 82



こんにちは。
雪も寒さも苦手な私ですが、雪が待たれるこの頃です。

今年度、日南小・中学校でお世話になったボランティアさんの延べ人数は、1月末で1,000

人。こんなに多くの地域の方にお世話になることが出来て、子ども達は幸せです。ありがとうございます。

ある先生が、「アフタースクールがある日は朝からテンションが高い子どもがいるんですよ。とても楽しみにしています。」と話されました。すると、ボランティアさんも「何回かお邪魔すると、子ども達の成長を感じます。できることが増えたり、中身がしっかりして来たり…。とても嬉しいです。」「町で会うとあいさつをしたり声をかけたりしてくれる子どももいます。」と話されました。

こんな会話を聞いていると、「地域の人々がつくる学校の応援団」、まさしく「にちなん応援隊」だなあと思います。

さて、少し前の話ですが、12月には日南小学校か

ら、3年生以上の「かきぞめ」支援の依頼がありました。ボランティアさんの過半数は、人生学園習字コースに所属しておられる方々で、熱心に指導してくださいました。ところが、ボランティアさんと子ども達の距離が縮まりかけた頃に終了…となり、とても残念に感じました。

地域の方々と子ども達がもう少し多く触れ合えるようになるといいなあと思っています。

みなさん、来年度、是非、にちなん子ども応援隊の活動に参加して下さい。

連絡先…日南町教育委員会(0859-82-1118)

コーディネーター携帯(080-5232-7712)

